

第130号 令和元年12月15日 発行

- 第21回フォーラム発表報告
- 医師会病院ナースマスコット紹介
- 院内サークル活動報告
- 安全Topics
- 部署紹介リレー【薬剤部】

IWAKUNI  
MEDICAL  
CENTER

地域医療支援病院

岩国市医療センター  
医師会病院だより

<http://iwakuni-med.jp>

みんなの力で



地域医療を支えよう



岩国市医療センター医師会病院

〒740-0021

岩国市室の木町3丁目6-12

☎ (0827) 21-3211 (代表)

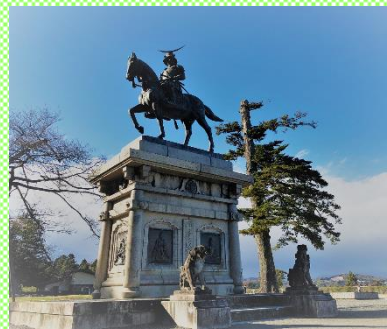
E-mail : [info@iwakuni-med.jp](mailto:info@iwakuni-med.jp)

# 第21回フォーラム

## 「医療の改善活動」全国大会 in 仙台

チームで未来につなげる伊達な改善！ 意志の巻[石巻]

日時 2019年11月15日(金)～16日(土)  
場所 仙台サンプラザ  
主催 一般社団法人 医療のTQM推進協議会  
大会長 石巻健育会病院 院長 勝又 貴夫



### 『検査や手術時の延食・絶食エラーを減らす』

ちゃきっ子組（看護部2階病棟） 竹腰 麻未・大崎 悦子

今回「医療の改善活動」全国大会に参加させていただき、様々な病院で行われたQC活動の発表を聞くことができました。どの病院もわかりやすいパワーポイントを使用し、見る人を引き付ける工夫された発表でした。誰が聞くのかを考え、聞く人によって伝え方を変える工夫をしなければならないと学びました。

発表後の交流会では、仙台の美味しい食べ物や地酒を囲みながら、「奥州・仙台おもてなし集団の伊達武将隊」による舞を見ることができました。とても盛り上がりました。その後、様々な病院の方と話をすることができ、とても楽しい時間を過ごさせていただきました。

今回の全国大会に参加させていただき、貴重な学びを得ることができました。今回学んだポイントを今後の2階病棟QC活動に活かしていきたいと思えます。ありがとうございました。



### 『岩国市民における転倒予防の意識向上～転んで死なないために～』

ミックス∞ with A（安全管理委員会 患者安全啓発小部会）  
リハビリテーション部 崎本 充

今回、初めて全国大会に参加させて頂き、他の医療機関の様々な取り組みを聞きたい機会となりました。講評では、壮大なテーマでの取り組みに対してチャレンジ精神を評価して頂きました。課題は多いですが、メンバーと協力し今後の活動に取り組んでいきたいと思えます。



# “アーチちゃん”

アーチちゃん

はじめまして♡ 私は“アーチちゃん”です。  
この度、看護部のみんなの投票で医師会病院のナースマスケットになりました。病院の看護部方針は『よく笑い、よく学び、善く働く』です。今回、医師会病院の目指す看護師像をイメージしてマスケットをつくろうということになり、5つの案から、私が選ばれました。



- 岩国と言えば錦帯橋 「五つのそり橋」
- 医師会病院なので 「いし貝」
- 病院と地域をつなぐ 「かけ橋」
- みんなから愛される 「ナース」 でありたい

それが私です。

最初のお仕事は、クリニカルラダー認定証づくりです。クリニカルラダーとは、看護師の実践能力を5つのレベルに分け、ステップアップしていく教育支援ツールです。皆さんから愛し愛され続けるマスケットでありたいと思っていますので、どうぞよろしくお願いたします



## 院内サークル活動報告

10月20日に行われた岩国YMCA国際医療福祉専門学校のオープンキャンパスにて演奏してきました。毎年恒例で出させてもらっています。

メンバーは岩国医師会病院の職員が中心なのですが、元職員の人も参加してくれました。メンバーが多いとその分楽器も多いので、曲の幅が増えて演奏していて気持ちいいです♪ 曲は昭和時代の名曲から、最近の話題曲まで、どの年齢層の方でも楽しめるようにと選曲しました。毎年演奏を聴きにきてくれている方もいるので嬉しい限りです。来年も再来年も続けていきたいですね(^\_^)

院内音楽サークル メゾ・フォルテ 佐伯 厚輔



### ♪ 演奏曲 ♪

- ① 優しいあの子
- ② 異邦人
- ③ レモン
- ④ ハナミズキ
- ⑤ わかって下さい



# あるき隊活動報告

## 小豆島 寒霞溪 (2019/11/2-4)

今回は7名で、小豆島の寒霞溪にある瀬戸内海で一番高い星ヶ城山(817m)に登ってきました。寒霞溪は200万年の歳月が創造した渓谷美を有し、日本三大渓谷美の一つに称されています。



11/2の朝7時半に病院に集合し、7人乗りの普通車1台で出発。2泊3日の荷物は登山グッズもありトランクには入りきらず、車内にも持ち込まないといけないほどギュウギュウ詰めでしたが楽しい道中でした。新岡山港からフェリーで70分間の船旅の後、お昼過ぎに小豆島の土庄港に到着しました。

2日目に今回の最大の目的である寒霞溪に向かいました。土庄港近くのホテルから21km離れたロープウェイの麓の紅雲駅に車を止め、表十二景遊歩道入り口から出発。ロープウェイを利用すると5分で寒霞溪山頂駅(612m)ですが、歩いて上ると1時間以上かかります。でも遊歩道を歩くと岩々と木々が織りなす初秋の見どころをすべて見る事ができましたし、山頂近くの四望頂展望台(魔女の宅急便ロケ地)や鷹取展望台(625m 八日目の蟬ロケ地)からのパノラマ絶景も堪能できました。展望台からは500m程でロープウェイ山頂駅のある寒霞溪山頂広場に到着です。

あるき隊は山頂駅周辺で小休止をした後、小豆島の最高峰の星ヶ城山を目指しました。山頂広場には多くの観光客がいましたが、そこから先の星ヶ城山に向かう人は誰もおらず、ちょっと寂しさを感じつつのスタートでした。この登山道には見所がなく、黙々と1時間歩いて東峰山頂(817m)に到着しました。瀬戸内海を眺めながらコンビニ弁当で20分程のお昼休憩をとった後、西峰(805m)を經由して寒霞溪に戻り、裏八景の渓谷の景色を眺めながら1時間で下山しました。



島内には多数の観光名所があります。初日の午後は、二十四の瞳映画村、醬(ひしお)の郷(霧田気のある醤油蔵の並ぶ街並み)、小豆島オリーブ公園(ギリシャ風車と2000本のオリーブのある瀬戸内海を見渡す公園)を、2日目は登山後にブルーラインからスカイラインをドライブし、高さ60mのしあわせ観音や宝生院の樹齢1500年以上と言われる真柏(国指定特別天然記念物)を、最終日は干潮の時にできる隣の島に歩いて渡れるエンジェルロード、断崖絶壁に建てられた奥の院 笠ヶ瀧(鎖や手すりをもって上ります)、銚子溪お猿の国(500匹の猿がいます)、重岩(かさねいわ)(瀬戸内海、四国を眺望できる数百段の山頂の神社、上るのに息が切れた)、ギネス認定の世界一狭い土洲(どぶち)海峡(長さ2.5km、最も狭いところで幅9.9m)などを観光しました。女性3人は、島内4か所で醤油、オリーブ、メイプル、すももの珍しいソフトクリームを食べることができてご満悦でした。

最終日は、各々が買い込んだ沢山のお土産で車の中は行き以上にギュウギュウ詰め状態での帰路となりました。皆さんも山登りだけでなく観光や食べ歩きもするあるき隊に参加してみませんか。

(文責 貴船 雅夫)



# 気をつけたい！高齢者の誤嚥

高齢になってくると口やのどの筋肉量や機能が低下してしまい、むせやすくなってしまうことがあります。サラサラした水やお茶の方がむせやすくなるので要注意です。なぜ、むせるのか知って早めの予防を心がけましょう。

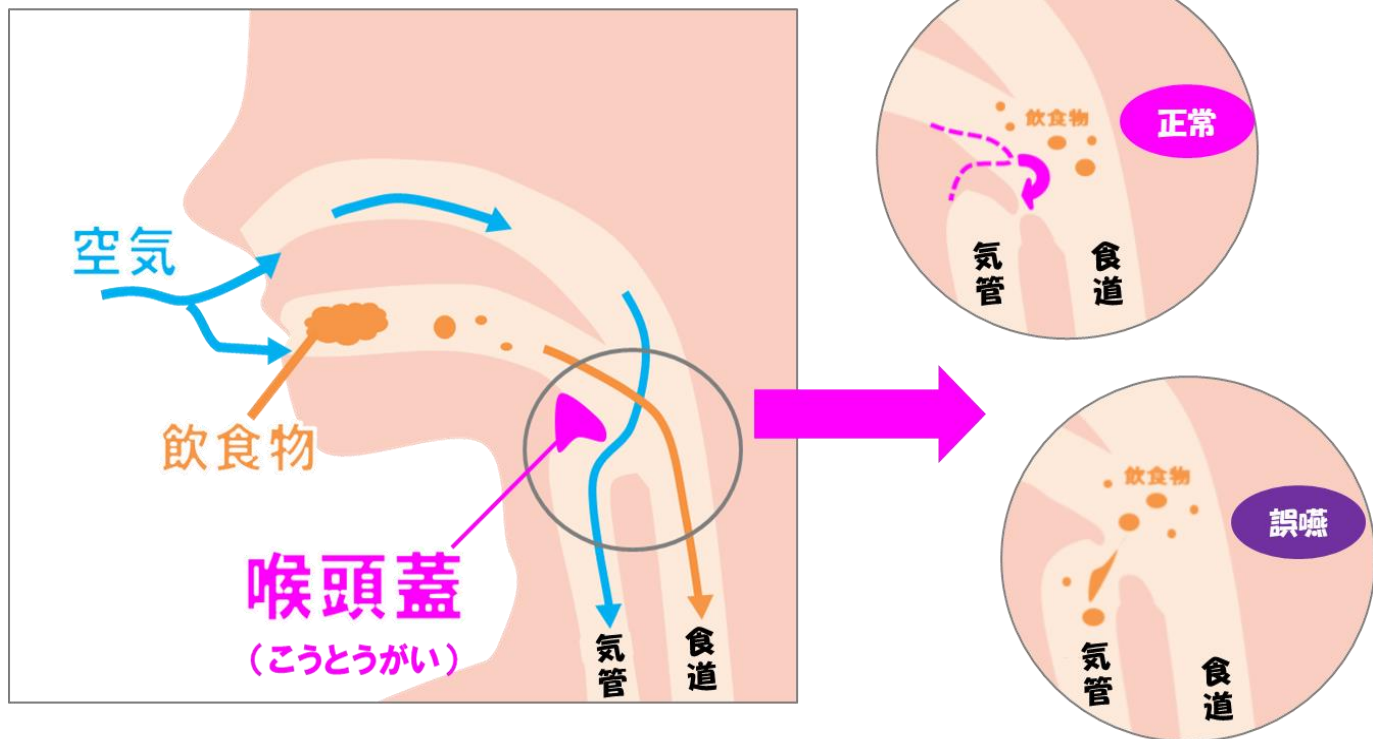
## なぜ、むせてしまうのでしょうか？

### 気管にフタをするタイミングが加齢などで遅れるから！！

喉には喉頭蓋(こうとうがい)という器官があり、飲食物や唾液などが気管に侵入しない役割を担っています。

息をするために普段は開いていますが、飲食物が通る瞬間だけ喉頭蓋が気管にフタをします。しかし、加齢や疾患が原因で衰えて喉頭蓋が気管にフタをするタイミングが遅れると、飲食物が気管に入り（これが誤嚥です）吐き出そうとしてむせてしまうのです。

### <誤嚥のメカニズム>



来月は高齢者の誤嚥性肺炎について掲載予定です。



当院のホームページに、皆さんの健康維持・増進の手助けとなるようにと作成した「健康づくりパンフレット」を掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

## 部署概要

✳️**人員配置** 薬剤師：6名 アメニティキーパー：1名  
 (薬剤部長：木本和伸、副部长：中川哲志、主任：白木尚美)

### ✳️認定・専門薬剤師

日本医療薬学会認定薬剤師：1名  
 日本薬剤師会感染制御認定薬剤師：1名  
 やまぐち糖尿病療養指導士：1名  
 研修センター認定指導薬剤師：3名



## 薬剤部長挨拶

薬は病気の回復には欠かせないものです。その反面、適正に使用されないと、重篤な副作用などの思わぬことも起きることがあります。

薬剤師は医療チームの一員として、薬が適正に使用される様に、他の医療スタッフに薬学的観点に基づいた提案をし、薬剤師ならではの安心、安全な医療を提供しています。そのために、薬物療法に関わる全て（処方設計、処方提案、注射調製、薬物治療中の有効性と安全性）に薬剤師が関与する、いわゆる“薬あるところに薬剤師あり”を実践しています。

薬剤部長 木本 和伸

## 業務内容

【調剤】 医師が処方した内服薬、外用薬に加え注射薬も調剤しています。まず、処方箋を読んで用量・用法、飲み合わせに問題がないかチェックし、患者さんに適切な処方がなされるように調剤しています。薬の種類が多くてそのままでは正確に服用できない患者さんのためには一回分ずつまとめて分包（一包化調剤）したり、錠剤やカプセルのままでは飲めない患者さんには粉薬のかたちにしたりと色々な、きめ細かい対応も行います。



【注射調剤】 入院患者さんに処方された注射薬の供給を行っています。注射薬の供給については患者さん毎に処方チェック（投与量、投与経路、投与時刻、投与速度、配合変化等）および、クリーンルーム内で注射薬（高カロリー輸液、静脈内点滴）の混合を行い、安全性の高い注射薬を提供しています。原則すべての静脈内点滴注射（高カロリー輸液以外の通常の静脈内投与の注射薬も）を薬剤部で混合しているのは、全国でも数施設です。（県内では当院のみ）早朝、夕方の1日2回 2人一組で原則全ての注射剤の混合しています。

【がん化学療法】 より高いレベルの安全性が要求されるがん化学療法については、投与量、投与スケジュールをチェックし、安全キャビネット内で抗がん剤閉鎖システムを用い無菌的な調製し、患者さんに提供しています。

【製剤】 現在はほとんどの場合市販品で十分ですが、時には特殊な処方が必要な場合があります。このような個々の患者さんの必要に応じた特殊な薬を調整しています。無菌性が必要な薬剤（点眼剤、注射剤など）は無菌調製しています。



## 【医薬品情報管理】

- ① 医師、看護師、その他の医療チームメンバーから質問を受けた時、信頼できる確かな情報を提供しています。また、薬剤の副作用に関する緊急の情報は、院内の他の医療スタッフに院内ネットを用いて速やかに提供し情報を共有しています。
- ② 国の方針により、後発品への採用切り替えを積極的に行っていますが、安心・安全な医療を提供するために、可能な限り調査し、客観的評価し、その情報を院内LANで医師に提供しています。

## 【外来での薬剤業務】 手術前抗血栓薬の薬学的管理

術前に外来受診の際、抗血栓薬のスクリーニングと内服中止の要・不要の確認、患者への説明・指示を行っています。



## 【病棟での薬剤業務】

- ① 入院時の患者情報収集、持参薬鑑別の情報を医師に薬剤情報として提供して、治療方針の決定に役立ててもらいます。
- ② 抗MRSA薬に限り、TDM(最適な投与量を科学的に設定する業務)により患者毎の用法・用量を設定し、医師に情報提供することで薬剤の適正使用を支援しています。
- ③ 患者さんの薬歴を記録し、有効で安全な服薬方法を指導したり、注意しなければいけない副作用の症状や飲み合わせ(薬物間相互作用)を説明します。また、カルテの記載内容、検査結果、患者さんとの会話・観察から薬の効果や、薬が原因である異常がないか監視しています。
- ④ 退院時に、家族を交えて“お薬説明書”や“お薬手帳”を用いて情報をわかりやすく提供し、患者さん本人、家族が薬物治療に参加する体制をつくるようにしています。

## 【教育体制】

- ① 糖尿病教室で薬物治療を担当し、薬物療法に患者自身が積極的に参加するよう指導しています。可能な限り、当院ではマンツーマンの指導を行い、それぞれの患者さんに合った指導を行っています。
- ② 薬剤に対する勉強会の講師として活動(看護師対象の勉強会)
- ③ 薬学部の長期実務実習生を毎年積極的に受け入れ、新コアカリキュラムに沿った実習を行っています。また、近隣の中학생、高校生の職場体験も受け入れています。



## 【チーム医療】

- ① 感染対策委員会、医療安全委員会、NST委員会、クリニカルパス委員会糖尿病チーム、透析医療チーム、DMATなどのメンバーとして薬学的知識をもとに、患者さんのために幅広く活動しています
- ② 入院時カファレンスに参加し、今後の治療方針を決定する際、薬剤師の立場で支援しています。



## 【院内の全部署および、外部委託業者参加のQC発表大会の参加】

業務上の問題点を解決して、業務の効率化をはかり、質の高い医療を提供する、いわゆるQC活動に参加し、ほとんど毎年表彰台に上がっています。モットーは“仕事を可能な限り効率化し、最大の効果を得る”です。



## 今後の目標

日々進歩する薬物療法に関する知識を習得することに終わりはありません。薬剤師として得た専門的知識を医療の現場に還元し、医療チームの一員としてこれまで以上に安全で有効な医療を提供できるように努力していきます。



木本部長、薬剤部の皆さん、ありがとうございました！  
次回もお楽しみに！！



# 岩国市医療センター医師会病院 外来診療担当医師

(午前中のみ)

令和 元年 12月 1日現在

	月	火	水	木	金	土	
総合診療科	菊地 由花 (広島大学)						*毎週月曜日(9時~12時半)に診療を行っています
消化器内科 (肝臓)			川口 憲二	川口 憲二			*救急と予約診療以外は 午前中 にお願ひします
糖尿病内科 血液内科				佐々木 輝昌			*毎週木曜日(9時~16時半)に診療を行っています *糖尿病教室は、毎週月・木曜日、第2・4金曜日の 15時から行っています
腎臓内科	福田 雅通	福田 雅通		福田 雅通	福田 雅通	福田 雅通	*血管造影は、金曜日の午後に行っています
泌尿器科			佐本 征弘 (山口大学)				*毎週水曜日(13時半~16時半)に診療を行っています
小児科	福田 雅通	古賀 まゆみ		福田 雅通	古賀 まゆみ	福田 雅通	*紹介状を必ずお持ち下さい
緩和ケア内科		中藤 嘉人 (午前)	中藤 嘉人	中藤 嘉人 (午前)			*初診の場合は、必ず 予約が必要です
h <sup>+</sup> クリニック内科	熊野 健一 (午前) (再診のみ)	熊野 健一 (午前)			熊野 健一 (午前)	(第1・第3) 原田 英宜 (山口大学)	*毎週 火曜日・金曜日のh <sup>+</sup> クリニック(痛みの外来)は 予約も可能です *急患や火・金曜以外の診療については、医療連携室 または直接 熊野健一へお問い合わせ下さい *第1・第3土曜日(9時~12時半)は完全予約制のため 医療連携室へお問い合わせ下さい
脳神経内科			金谷 雄平 (広島大学)				*毎週水曜日(9時~12時半)に診療を行っています (対象年齢：16歳以上) *完全予約制ですので医療連携室へ詳細はお問い合わせ 下さい
整形外科	貴船 雅夫	貴船 雅夫	茶川 一樹	茶川 一樹	清水 元晴		*救急と予約診療以外は 午前中 にお願ひします
脳神経外科						(第1・第3) 末廣 栄一 (山口大学)  (第2) 井本 浩哉 (山口大学)	*毎月第1・3土曜日(10時~12時半)に診療を行って います *毎月第2土曜日(9時半~12時)に診療(機能的脳外科) を行っています(要予約)
放射線診断科	横田 佐和 (山口大学)	三好 啓介 (山口大学)	神谷 正喜 有吉 彰子 (山口大学) 【隔週交替】	交替	交替		*完全予約制ですので、放射線科受付(21-3224)へ 詳細はお問い合わせ下さい
リハビリ科	繁富 頼雄	松本 彰紘 (広島大学)	茶川 治樹	森脇 宣允	柳居 理絵子	森脇 宣允 木村 浩彰 (広島大学)	*初診の場合は、必ず 予約が必要です
療育	古賀 まゆみ	茶川 治樹	古賀 まゆみ	古賀 まゆみ	茶川 治樹	茶川 治樹	*完全予約制ですので療育センター (24-0168) へ 詳細はお問い合わせ下さい

※ 土曜日の午前中は、病院医師1名の当直体制となっています

\* 医療連携室電話番号： ☎ (0827) 21-3225

- ★ 救急は、この限りではありません
- ★ 紹介状は必ずお持ち下さい



編集・作成：岩国市医療センター医師会病院 院内広報委員会